

ID

氏名

年齢

科名

病棟

VP-16+CBDCA+
Atezolizumab療法3週毎 4 コース予定疾患名 小細胞肺癌

主治医

指導医

HBs抗原(), HBs抗体(), HBc抗体(), HCV抗体()

スケジュール

	day 1	day 2	day 3
テセントリク(アテゾリズマブ) 1200 mg/body	↓		
エトポシド・ 100 mg/m ²	↓	↓	↓
カルボプラチン・ AUC 5	↓		

【注意】 * 他剤使用時はアテゾリズマブ投与前に血管確保用生食にてフラッシュすること。

* アテゾリズマブ投与時はインラインフィルター(0.2または0.22 μ m)を通して投与すること。

* アテゾリズマブの点滴時間は初回投与時60分かけて点滴静注、2回目以降は忍容性が良好であれば、30分投与でもよい。

* エトポシドは溶解後結晶が析出するため用時100 mgを輸液250 mL以上で溶解(濃度0.4 mg/mL以下の濃度になるように)し、30分以上かけて点滴静注する。

またDEHPフリー点滴セットを使用する。

通常量より減量する際の理由

(レジメン)

Day 1

① 生食 500 mL

維持(20 mL/時間)

② テセントリク 1200 mg + 生食 250 mL

点滴静注(60～30分)

◎メインの生食でフラッシュ

③ アロカリス 235 mg + パロノセトロン 0.75 mg + デキサメタゾン 4.95 mg + 生食 100 mL

点滴静注30分(200 mL/時間)

④ エトポシド + 5%ブドウ糖 500 mL・

点滴静注90分(360 mL/時間)

⑤ カルボプラチン + 5%ブドウ糖 250 mL 点滴静注60分(250 mL/時間)

◎終了後、メインの生食でルート内フラッシュ

Day 2, 3

① 生食 500 mL 維持(20 mL/時間)

② デキサメタゾン 3.3 mg + 生食 20 mL 側管静注

③ エトポシド + 5%ブドウ糖 500 mL 点滴静注90分(360 mL/時間)

◎終了後、メインの生食でルート内フラッシュ

	コース			コース		
	day 1	day 2	day 3	day 1	day 2	day 3
月 日	/	/	/	/	/	/
テセントリク 開始時刻	↓			↓		
エトポシド 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
カルボプラチン 開始時刻	↓			↓		
確認						

	コース			コース		
	day 1	day 2	day 3	day 1	day 2	day 3
月 日	/	/	/	/	/	/
アテゾリス`マブ 開始時刻	↓			↓		
エトポシド 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
カルボプラチン 開始時刻	↓			↓		
確認						